令和5年度 あけぼの支援学校

進路だより

山梨県立あけぼの支援学校進路指導係 http://www.akebonoy.kai.ed.jp

令和5年4月28日発行 NO. I

文責:山寺

新型コロナウイルス感染症の影響がまだ少し残る中ではありますが、今年度もいよいよ始まりました。進路指導係では下記の基本方針を元に、少しずつ以前のような活動ができるようにしていきたいと思います。

I 年間どうぞよろしくお願いいたします。

l 進路指導目標

児童生徒一人一人がいきいきとすごせるよう、社会参加、社会自立、社会貢献に向けた指導や 支援を組織的に行う。

2 今年度の分掌目標

- (1) 保護者のニーズや児童生徒の実態に応じた進路に関わる情報提供を積極的に行う。
- (2) キャリア・パスポートの作成及び活用を促進させ、キャリア教育を推進する。
- (3) 企業や福祉事業所と連携し、児童生徒への情報発信に取り組む。
- (4) 教職員に対し、進路先や福祉サービス等に関する情報提供を随時行う。
- (5) 進路指導目標の達成を目指し、学部や学年、個々の児童生徒の実態に応じた適切な進路 指導を、現場実習や進路面談を通じて実践する。
- (6) 進路先および福祉行政、福祉事業所、企業等、就労に関わる支援機関との連携を行う。
- (7) PTA専門委員会における進路対策委員会の活動への協力を行う。
- (8) 来年度のあけぼの同窓会総会開催に向け、事務局としての準備を行う。

☆進路指導係紹介☆



《担当教頭》 小嶋美知郎(こじまみちろう)

進路指導担当の小嶋です。今年で2年目になりました。引き続き担当をさせていただくことになりました。今年も関係機関の方々と連携し、役立つ情報をみなさんにお知らせしたいと考えています。そして、何よりもみなさんが活躍できる環境づくりを応援していきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



《進路指導主事》 中野宏樹(なかのひろき)

今年度新たに、進路指導主事になりました中野です。新型コロナウイルス感染症もまだまだ油断はできませんが、5類になることでこれまでよりも様々なことが緩和され、活動しやすくなると思います。本年度も、現場実習や施設見学を計画し、進路における体験や情報の共有を図っていきたいと考えています。また、進路に関する情報やお問い合わせがありましたらお気軽にお伝えください。 | 年間よろしくお願いいたします。

令和5年度進路指導係

担当教頭 : 小嶋 美知郎 進路指導主事 : 中野 宏樹

高等部 : 山寺 純子(副主事) 柳澤 真澄 福澤 友実子

中学部 : 米山 瑞穂 小学部 : 中込 由紀

進路指導部年間計画

月	進路指導	保護者との連携(進路対策委員会等)
4	• 第 I 期実習先の確認(担任・生徒・保護者)	● PTA新旧理事会 4/ I 4(木)
5	• 公務員等、模擬試験(必要に応じて)	(書面開催)
	• 第Ⅰ期現場実習打合せ(4月下旬~5月上旬)	• PTA総会 5/2(火)(書面開催)
6	● 第Ⅰ期現場実習(高2・3) 5/29(月)~6/9(金)	• 同窓会役員会(5、6月を予定)
	• 校内実習(高) 6 / 5 (月)~6 / 9 (金)	● PTA理事会・専門委員会 6/I2(月)
		• 進路面談 ※必要に応じて
7	• 保護者福祉事業所見学① 7/ 4(金)	
8	• 臨時現場実習 ※必要に応じて	
	• 職員施設研修、職員進路研修会	
9	• 第Ⅱ期実習先の確認(担任・生徒・保護者)	• 進路面談 ※必要に応じて
10	• 進路講演会 9 / I(金)	● PTA理事会・専門委員会 8/3 I(木)
	• 保護者福祉事業所見学② 9/ 14(木)	PTA理事会・専門委員会 / 2 2 (水)
1.1	• 第Ⅱ期現場実習打合せ(IO月上・中旬)	
12	• 第Ⅱ期現場実習(高Ⅰ・2・3)	
	Ⅰ0/30(月)~ⅠⅠ/Ⅰ0(金)	
	• 保護者福祉事業所見学③ / 6(木)	
	● 現場実習報告会 / 2 (火)	
	※医療センター考察会議(II~I2月)	
1	• 臨時現場実習 ※必要に応じて	• 進路面談 ※必要に応じて
2	• PTA研修会·進路対策委員会学習会 2/22(木)	PTA理事会・専門委員会 2/26(月)
3	• 次年度に向けて実習先の開拓、担任との方針確認	• 同窓会役員会(I月を予定)
	• 個別の教育支援計画 A 、 B 、 C 票引き継ぎ(高 3)	
他	• 福祉事業所、企業等 開拓 (通年)	• 進路だより(年4~5回を予定)
通年	• 計画相談や福祉サービスなど関係機関との連携、関係者会議の実施 ※必要に応じて	
+	• 情報提供(HP、ブログの更新含む)、各圏域の自立支援協議会への参加協力	



≪知っておきたい進路ワード≫

初回は<mark>現場実習についてお知らせします。実際に現場実習が行われるのは高等部ですが、小学部の保護者の皆様もぜひご一読いただけたらと思います。</mark>

現場実習は年間2回実施しています(1年次は1回)。 県内の特別支援学校ではすべての学校で実施されており、本校では第1期は5月下旬~6月上旬に、第Ⅱ期は11月下旬~12月中旬にかけて実施しています(県下の支援学校で日程調整を行い、多くの生徒が施設を体験できるよう他校と重複しないようにしています)。現場実習中は、施設の開所時間に合わせて保護者の送迎をお願いしています。また必要に応じて、保護者付き添いをお願いする場合もあります。事前の実習打合せや終了時の反省会への参加など、保護者の皆様には多くのご協力をお願いすることになります。生徒一人一人の卒業後の生活を見据え、保護者の方を含め学校・福祉と協力して有意義な実習にしていけたらと考えています。

小・中学部の保護者の皆様は、まだまだ想像できない部分も多いと思いますが、早い時期から多くの施設を見学していただいたり、福祉サービスについて知っていただいたりすることが、高等部になってから、卒業後の進路決定の際にとても重要になってきます。学校と福祉では、利用できるサービスに違いがあります。児童生徒・保護者のライフスタイルは様々ですので、困り事や心配事も様々だと思います。些細なことでも結構ですので、担任・進路指導係に声をかけていただけたらと思います。一緒に考えていきましょう。